

令和2年度 第1回宝達志水町文化財保護審議会 会議録

日 時：令和2年6月30日（火） 午後 3時00分 ～ 午後 4時30分
場 所：宝達志水町生涯学習センターさくらドーム 21 2階 第1会議室

出席者

委 員 出倉会長、村上副会長、山岸委員、秋田委員、末森委員、金山委員
事務局 細江教育長、坂井課長兼室長、村井所長、竹森主事、三浦主事

1 開会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 令和2年度文化財保護事業について（事務局から報告）

(1) 国指定文化財関係

- ・重要文化財 喜多家について
管理棟エアコン取替工事を行う。

(2) 県指定文化財関係

- ・岡部家について
文化財防火訓練の実施を予定。
- ・末森城跡、御館館跡の管理について
5月20日御館館跡、5月22日末森城跡の1回目の除草作業を実施。
- ・ゼンショウジキクザクラについて
6月10日 千木先生指導のもと、施肥作業を実施（出倉会長立会）。枯死した枝の除伐を予定。
- ・妙法輪寺のナンテンについて
寺の建替工事を来年予定と聞いており、工事期間中の養生方法とナンテンを保護する支柱の設置に係る県費補助について、県文化財課と協議する。

(3) 町指定文化財関係

- ・臼ヶ峰往来について
6月24日に1回目の除草作業を実施。

- ・「村御印」について

令和2年3月12日に文化財指定。4月中旬に各区長に指定書を郵送した。指定を受けたのは、9地区（東間、坪山、森本、三日町、上田出、上田、今浜、荻谷、走入）。今後、ほかの地区より村御印があると申し出があった場合、調査のうえ指定の手続きを進めていく。

(4) 埋蔵文化財センター

- ・整備事業について

国庫補助事業を受け改修工事を実施。令和2年2月完了。展示室は6月29日に開館。

- ・普及啓発事業について

県埋蔵文化財センター職員による出前事業等の協力、町公民館との共同事業の実施、寄付資料の整理作業の実施。

(5) 地域学習への協力依頼について

- ・各小中学校から講師の要請があればお願いしたい。

(6) 新型コロナウイルス感染症関係

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町内の文化財施設すべてにおいて4月14日（火）から当面の間休館していたが、緊急事態宣言解除を受けて、喜多家と岡部家は6月1日（月）から開館した。
- ・町埋蔵文化財センターは展示作業が完了したことから6月29日（月）から開館。
- ・喜多家、岡部家は、休館期間中は、盗難、自然災害などの異常がないか確認してもらうため、午前中のみ見回り、清掃を行った。

金山委員：宝達志水町が県から受け入れたものは具体的に何がありますか。

事務局：発掘調査より出土した埋蔵文化財です。土器、金属器、木器などです。そうした遺物の受け入れについては、町内で「県埋蔵文化財センターと同等の保存・保管環境を用意する」という条件があります。また、一遺跡から出土した遺物を一括で受け入れることも条件になっています。

村上副会長：金属器、木器などは保存上、受け入れが難しいのではないのでしょうか。

事務局：金属器や木器などの点数が多い遺跡については保管環境が整っていないため、受け入れを見送ります。金属器や木器などの点数が少ない遺跡を選び、

受け入れる予定です。

村上副会長：御館遺跡などは草刈りが定期的に行われていますが、毎回同じ区画ではなく、違う区画へと刈る場所を変えながら、行うべきではないかと考えます。場所によっては竹が大量に生えており、目も当てられません。

事務局：竹林の所有者の方の区画は所有者ご本人が草刈りを行うため、勝手に作業を行えません。

出倉会長：県から受け入れる遺物について、コンテナ50～200箱の整理・整備などはどのように対応していく予定ですか。

事務局：遺物の整理については、県埋蔵文化財センターの方で済んでいます。しかし、遺物に付着したヨゴレやホコリなどは洗浄が必要です。町職員だけでは量的に難しいため、業者側に委託する形になると思います。

5 令和2年度・3年度能登文化財保護連絡協議会について

令和2年度 開催地：能登町 開催時期：中止

令和3年度 開催地：未定 開催時期：未定

(1) 令和2年度の能登文化財保護連絡協議会について

- ・理事会（通常は会長が出席）：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決の予定。
- ・自然保護部会（通常は7月～8月開催）：中止
- ・総会、研究大会：開催地 能登町
：開催時期 未定（通常は9月下旬～10月初旬）

※事務局と開催地である能登町が今後の状況を鑑みながら開催するかどうか検討していくとのこと。

(2) 「能登の文化財」第54輯、第55輯の執筆について

- ・第54輯：テーマ自由。村井所長が執筆
- ・第55輯：令和元年度の幹事会で、テーマ『災害』に決定。
大火、津波、山崩れ、大雪、地震など
時期は江戸時代以降～能登半島地震まで

(3) 令和3年度能登文化財保護連絡協議会について

- ・令和3年度は、宝達志水町が開催地となる。
- ・来年度の開催に向けて、自然保護部会及び総会・研究大会の開催場所、講演される講師の人選について、打ち合わせを行いたいため、通常5月、2月の2回審議会のところ、9月頃に臨時の審議会を行いたいため、ご協力願いたい。

(参考) 平成24年度 宝達志水町大会

- ・自然保護部会 (9月14日)
アサギマダラのマーキング体験、ホクリクサンショウウオ生息地の観察
- ・総会、研究大会 (7月6日)
場所：生涯学習センター「さくらドーム21」視聴覚室
基調講演：田畑武正氏「利家と末森合戦」
文化財研修会：岡部家、末森城跡 (雨のため中止)

事務局：能登文化財連絡協議会ですが、5月に開催する理事会は延期となり、書面決議となる予定です。令和2年度は能登町での開催でしたが、コロナの関係で中止となりました。10月開催の総会についても検討中です。

能登の文化財第54、55集の執筆についてですが、第54集については村井所長に執筆をお願いします。第55集については「自然災害」というテーマが与えられており、執筆者はまだ決まっておられません。委員のどなたかに第55集執筆をお願いできないかと思っています。

出倉会長：また事務局の方で検討をお願いします。

村上副会長：岡部家文書は今どこに保管されていますか。

事務局：町埋蔵文化財センター内で保管しています。また来週、県図書の方が文書の資料の閲覧に来られる予定です。

村上副会長：江戸時代においては、河道を伝って海水が平野まで入ってくることで稲作が不良になるため、河道を付け替えるということがありました。このような塩水の逆流は当地域においても長年人々を悩ませてきたもので、当時における自然災害と考えられます。地震、津波のほかにも、このようなことを能登の文化財の題材として扱ってみるのはどうでしょうか。

出倉会長：塩害などの当地域における災害と村御印との関連を調査してみるのも考えてみたいですね。

出倉会長：災害というテーマの中で村御印の資料も交えると、大変おもしろい研究に

なるとは思いますが、どなたか手を挙げられる方はおりませんか。
また、事務局、各自での検討をお願いします。（後日、村上副会長から執筆の了解を得た。）

事務局：令和3年度能登文化財連絡協議会についてですが、順番で行くと令和3年度は宝達志水町が開催地に当たるかと思われます。その開催に向けて、1年前からの準備を進めていきますが、9月に臨時の審議会も考えています。またご協力をお願いします。

出倉会長：来年度ここで総会が行われるということできざまな課題があるということを入念に入れておかなければならないということですね。

秋田委員：コロナの影響でいろいろなことが中止になっていますが、来年の能文連の大会は開催できるのでしょうか。

事務局：能登文化財連絡協議会については、事務局からの連絡がまだありませんので、詳細はわかりません。連絡がない以上は、令和3年度は宝達志水町で開催ということを前提に準備を進めていきたいと考えています。

金山委員：令和3年度の実地などの決定はいつどのように決まるのでしょうか。

事務局：理事会での書面で決定されるかと思いますが、書面での決定を待つことになるかと思いますが。

出倉会長：書面決裁で大会の中止か延期が決まるということですね。わからないことが多いですが、またご理解とご協力の程よろしくをお願いします。

村上副会長：総会で講演していただく講師の方ですが、歴史関係ではなく、自然関係の方でもいいのではないのでしょうか。

出倉会長：講師の人選についても、また9月に臨時の審議会でも検討が必要になるかと思いますが。

村上副会長：宝達志水町の実地に向けて、講師の人選、方向性などは早めに決めてもらいたいですね。令和3年度は宝達志水町で開催することを前提に考えて、人選だけは早めに決めたいですね。自然関連でもいいのです。

出倉会長：自然関係の方の講師も考えていきたいですね。この件について、そのほかに質問はありますか。

金山委員：この中からではなく、他のところから講師を人選することも考えていけばいいのではないのでしょうか。自然災害についてはハザードマップなども活用しながら、なぜこのような災害が起きるのかなどを考えてみるのはどうでしょうか。県職員など他の方を呼んで講演をお願いしてみてもいいのではないのでしょうか。

出倉会長：この地域がかかえる自然災害などにテーマを絞り、県の方に講師をお願いしてみるのはいかがでしょうか。

金山委員：宝達山や天井川の成り立ちなどそのようなことも視野にお話をお願いできればいいですね。県に適当な人がいるかどうか探してみてもいいですね。

出倉会長：テーマについては自然災害、人選については事務の方で対応していただくということでみなさんよろしいですか。
それではみなさん、よろしく申し上げます。

6 意見交換

事務局：まず、本日村上副会長にお持ちいただいた、村御印に関する参考資料について説明をいただきます。

村上副会長：県の史料編纂室の資料です。書いてあるとおりでありますが、十村に関する資料です。この資料によると、町内周辺には喜多家、岡部家のほかに、押水組に41ヶ村、邑知組に38ヶ村あり、そのなかに宝達志水町の在所にあたる村はどこか調べる必要があります。その上で、村御印関連の資料を調査するべきではないのでしょうか。まだ確認できていない資料を含めてより正確な村御印の存否を調査する必要があります。また、喜多家では村御印の資料が他の資料と混在状況にあり、整理が必要ではないかと思えます。また、当地域では土地の改作について商業の発展があったと言われています。

秋田委員：当資料の記載の内容について詳しく説明をお願いします。とくに改作法についてお願いします。

村上副会長：幕末以前、成功法として加賀藩が大事にしていたものです。儒教精神に基づいたものとして教わりましたが、今日は、商業の発展を抑えるものでイメージの良くないものとして教わっているようです。

出倉会長：町の方でも村御印の資料の集約に向けて、各在所を引くくめて調査を進

めていけたらなと思います。

出倉会長：数年前、町内の文化財・史跡を回った事があったと思うのですが、そのあたりについては何かお考えでしょうか。

事務局：今年度についてはコロナのこともあるので、来年度の実施を考えています。

出倉会長：宝達金山のように現地を歩いて回り、実態を把握することは必要なのではないのでしょうか。

秋田委員：審議会とは別の日に実施できたらと思います。町民として、町内にもこんなところがあるのだなと知ることが大事だと思います。

出倉会長：そのあたりについても検討していただきたいと思います。

7 閉会あいさつ（副会長）